

5. 令和2年度標準採血法検討委員会報告

Committee Report on the Standard Procedure for the Blood Collection in 2020

渡邊 卓 (JCCLS 標準採血法検討委員会委員長、杏林大学医学部教授)

Takashi Watanabe, MD, PhD (Chairperson of JCCLS Committee on the Standard Procedure for the Blood Collection, Professor, Kyorin University School of Medicine)

大西 宏明 (JCCLS 標準採血法検討委員会副委員長、杏林大学医学部教授)

Hiroaki Ohnishi, MD, PhD (Vice-Chairperson of JCCLS Committee on the Standard Procedure for the Blood Collection, Professor, Kyorin University School of Medicine)

委員 (五十音順、敬称略)

雨宮みち、新井梨佳、大西宏明、川合陽子、
東克巳、正木潤一、益田泰蔵、渡邊卓

令和3年3月18日に標準採血法検討委員会を開催した。

2019年3月に現行のガイドライン (GP4-A3) が発行されて約2年が経過したが、この間JCCLSを含め、委員会には特に質問や意見などは寄せられておらず、ガイドラインの内容が受け入れられているものと思われる。特に、注射器採血における分注器は、安全性の向上に役立つものとして利用が進んでいる。

本ガイドラインは、初期は臨床検査技師を中心

に普及していたが、近年は看護師にも浸透しつつある。

今後の方向性として、ポケット版や、オンライン版などの新たなフォーマットの追加を検討する。

また、医師のタスクシフトに関連して、臨床検査技師の末梢静脈確保業務が今後推進されることとなる見通しである。特にルート採血などに関連してくるため、今後本ガイドラインとして取り入れるかどうか検討を行う。